

令和3年度秋田県青少年健全育成審議会 環境浄化部会・会議録

(記録：高橋)

開催日時	令和3年10月8日（金曜日）午前11時20分～午前11時45分							
開催場所								
出席者 (○印)	東	石川	笈川	岡部	熊谷隆	後藤	高杉	出席者合計
	○	×	○	○	○	○	○	9人
	土田	長門	濱田	藤島				出席率
	○	○	○	×				81.8%

	区 分		図 書	D V D	映 画	がん具	合 計
	諮 問 数	優 良	2				2
	答 申 数	優 良	1				1

進 行	内 容
事 務 局	<p>(11:20)</p> <p>令和3年度秋田県青少年健全育成審議会環境浄化部会を開催します。</p> <p>本日の会議は部会員11名中9名の出席があり、過半数を超えておりますので、会議が成立していることをご報告致します。</p> <p>この部会の会議要旨については、後日作成する議事概要で原則公表することとしておりますが、個別の委員の名前は非公開としますのでよろしくお願いします。</p> <p>本日の会議で調査審議していただく事項は、優良図書の推奨についてですが、この事項に係る部会の議決は、審議会運営要綱に基づき審議会の議決にあることを報告いたします。</p> <p>これから会議の進行は、部会長にお願いします。</p>
部 会 長	<p>早速審議に入りたいと思います。</p> <p>はじめに、「優良図書の推奨について」事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>資料12-1、12-2の読み上げにより説明。</p>
部 会 長	<p>優良図書の推奨に係る審議を行います。</p> <p>本日は2冊ありますが、お手元の資料にある通り、「親子マンタふわり」の本は全員が「可」としていただきますので、最初に「親子マンタふわり」を審議し、その後に「中学生にわかる遠近法一筒で考える遠近法」の審議をすることにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>～異議なしの声あり～</p>

部 会 長	<p>それでは、「親子マンタふわり」について、御意見がある方はお願いしたいと思います。</p> <p>特に御意見等がないようでしたら、2冊目の「中学生にわかる遠近法一箇で考える遠近法」の審議に入りたいと思います。こちらは可否が別れていますので、色々議論してから結論を出したいと思います。それではよろしくお願いします。</p> <p>まずはA委員、お願いします。</p>
A 委 員	<p>大変良い本だとは思いました。少し難解で、読み進めることが辛かったのですが、この会議で優良図書として推薦する基準が明確にありますので、その基準に合わせていくと、この本はどうしても合わない感じがします。一つ一つ拾っていくと合わせるができないと言いますか、そのような作業でした。合致する審査基準は一つしかないのかなと感じ、そうすると必然的に否ということになり、私は否だと思いました。</p>
部 会 長	<p>基準に照らしてみると、やはりこの本を審査すること自体無理があるかもしれないというご意見ですね。それでは、B委員、お願いします</p>
B 委 員	<p>そもそもこの本がどのような経緯で選ばれたのかということを、まず知りたいです。</p> <p>審査基準の一つである「秋田県及び秋田県出身者を題材にし照会した図書等で郷土愛を育てるもの」については、どなたもチェックした方がいらっしゃいませんでしたし、私もそのように思いました。この本が専門書の中でも専門的な分野の入門であるかのように私は思いましたので、どうしてこの本が選ばれたのかということをお聞きしたいです。</p>
部 会 長	<p>推奨の経緯について、説明をお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	<p>今回の「中学生にわかる遠近法一箇で考える遠近法一」は、著者自身による推薦となっております。この著者の方は、遠近法に関する本を合計で3冊書いておりまして、今審査されている第1巻は入門編で、一番最初の巻ということで、入門編という気持ちで書いたと著者の方はおっしゃってっていました。</p> <p>推奨の経緯ですが、本県には推奨図書の推薦申出書という様式がありますので、著者自身が申出書を本と一緒に自薦という形で送付してきたものです。本県の審査基準に基づき、今回この審議会に諮ったという次第です。</p>

部 会 長	自薦ということですよ。
事 務 局	はい。
部 会 長	C委員、お願いします
C 委 員	この著者は、本県の出身ではないですよ。秋田県の出身者でなくとも、どなたでも応募できるということですか。
事 務 局	おっしゃるとおりです。事務取扱要領の中には、推奨の審査及び審査基準という項目の中で、「推奨の推薦があったとき又は自発的に推奨しようとするときは、内容等の審査を秋田県青少年健全育成審議会に様式により依頼することとする」という一文がありますが、秋田県出身者に対象を絞るなどといった記載はありませんので、どなたでもふさわしいと判断した本を自薦することができます。
C 委 員	分かりました。ありがとうございます。
部 会 長	D委員、お願いします。
D 委 員	私も可ではないという判断をさせていただきました。皆さんがおっしゃっているように、きちっとした基準がありますので、基準に照らした時、この本はなかなか難しいという判断で否にしました。
部 会 長	資料の中のE委員の意見欄に神奈川県事例が記載されていますが、もう少し詳しく教えていただきたいと思います。
E 委 員	<p>神奈川県審査基準がインターネットに公表されているか、探しましたが確認することはできませんでした。秋田県と違うかもしれないので、どのような審査過程で指定されたのかは、分からなかったのですが、私がインターネット上で調べたところ、神奈川県ではこの本を優良図書として指定しているようです。基準が違うというものの、他県で優良図書として採用されている例はあると思います。</p> <p>この審査基準そのものはあくまでも内部基準であって、条例で定めているものではないので、拘束力という観点あるいは変更ということだけで言うと、条例の改定までの必要性はないということであれば、今回の事務手続き的な部分は事務局の方だと思いますが、一旦保留にしてこの審査基準自体について再検討することもありかと思</p>

	いました。
部 会 長	ありがとうございました。
事 務 局	資料 1 1 の条例に基づく推奨及び指定等に関する審査基準の中に、優良図書の推奨の審査基準があります。これが資料 1 2－1、1 2－2 の審査表で事前に委員に審査していただいている基準と同じ基準になっています。
部 会 長	他に御意見ありますか。 F 委員、どうぞ。
F 委 員	私も審査表の審査項目に丸を付けられず、可か否かも付けられませんでした。ただ、良いか悪いかで言うと悪くはないので、いい本だとは思います。
部 会 長	それでは一通り皆さんにお伺いしたと思いますが、まだ御意見を言っていない方はいますか。G 委員、お願いします。
G 委 員	私もこの審査をするにあたって、この本の第一印象は否でした。どう考えても県の審査基準に当てはまらないのですが、長く行政機関に勤めているため、これは丸にしたほうがいいのではないかと逆にそのような読みが出てきてしまう感じがしました。 先ほど E 委員が言われたように、審査基準を変えた方が良いのではないかとこの本を読んで思いました。この本自体は、良い本だなと思いましたし、私もこの著者の方を調べて、1 巻だけではなく、2 巻 3 巻も読んで判断しました。しかし、やはり県の審査基準から考えるとどうかなと思いつつ、当てはめるところに苦し紛れですけども当てはめて可とさせてもらったと、私はそういう経緯です。
部 会 長	H 委員、どうぞお願いします。
H 委 員	私も他の委員同様、可否についてはかなり悩みました。正直、積極的な推奨ではありませんが、教養を高める点ということと、遠近法に興味関心を高めるきっかけになるのではないかとということで、特に問題はないのではないかとということから、可にしました。積極的な推奨ではありません。以上です。
部 会 長	積極的な推奨ではないということで問題はないという観点ですね。全員お話ししましたか。I 委員、お願いします

I 委員	<p>私も内容的には全く問題はないし、教養を高める本としてはとても良いと思いますので、可にしました。他の方もおっしゃっていたように、審査基準には当てはまりませんが、個人の主観としては中学生にも分かるということで、専門的にそういうことを勉強したい中学生にとっては、とても良い本なのではないかなと思ったので、積極的な推薦ではありませんが、全く問題はないと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。委員の皆さんのお考え、大体理解することができました。一言で言うと、審査基準に照らし合わせると少し疑問を感じる、審査基準には合わないため、積極的に推奨はできないけれども悪い本ではないということですね。私もこの本を読みましたが、教材として読んでみました。そうすると、このままだと教材ではないという風に感じました。この本をそのまま学校の先生が取り上げる場合は、この本を子どもたちに合うように、工夫して教材化しないといけないと思います。一般の皆さんや子どもたちには一工夫必要だということです。家庭にこの本をそのまま持ち帰らせると、親御さんがなかなか活用してくださらないと思います。こういったテーマが好きな子どもは良いけれども、とっつきにくいというか、飽きてきて、長続きしないのではないのでしょうか。このシリーズは計3巻ありますので、今回の本は3巻の中でも簡単な方ですので、皆さんどうお考えなのかなと思っていました。この部会では推奨するというのが一つの議題ですので、出来れば全員一致で推奨したいと思うわけです。それで今回のように可否が分かれてしまうと、どちらかと言うともう少し議論をするか、あるいはここで結論を出してしまいたいなという気もしますが、よろしいでしょうか。賛否両論ありますが。</p>
D 委員	<p>審査基準に照らして判断をしたと先ほど申し上げました。最終的にこれを推奨として秋田県として可とした場合、不都合なことはないのかということを最終的に考えなくてはならないと思います。審査基準と照らして合致していない本が秋田県の推奨図書として店頭に並んでいて、一般県民がそれを見た時、何か不都合なことがないかということは少し心配しました。</p>
部会長	<p>事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から一言お話しさせていただきたいと思います。審査基準ということが今お話に上がっていますが、今回はこの審査基準に則ってどうであるかということをもまず決めていただきたいと思います。</p> <p>審査基準に改正の必要があるのであれば、それは今後の課題とさせていただき、ま</p>

	<p>た別の機会にその基準に則って審査するということにさせていただきたいと思います。今日はやはり現行の審査基準に則って審査を可否を決めていただく必要があると思いますので、審査基準に合うか合わないかというところで秋田県として推奨できるかできないかをご判断いただききたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
部 会 長	<p>やはりこの基準というものにきっちり照らし合わせて、結論が出るかどうかということが判断だと思います。審査表の丸の付け方を見ると、「親子マンタふわり」と比べてやはりだいぶ苦勞なさってるような感じもします。E委員お願いします。</p>
E 委 員	<p>この審査基準の法的な性質と言うと、条例ではなくあくまでも内部審査基準ということで、法的拘束力自体はないと思われます。</p> <p>したがって、基本的には条例の条文の内容をわかりやすく、内容を確認しつつ基準を細かくして公平に適用させるためにこの基準が作られていると思うのですが、その基準の内容が変な話、古くなっているとか時代にそぐわないとかという時に、それではあるものでとりあえず審査しましょうということは、今回の優良指定図書という処分が受益的な処分なので、裁量の余地は基本的に大きいはずです。</p> <p>権利を権力的な処分行為にということであれば、しっかり審査基準に沿って行うと思いますが、優良指定図書には裁量の余地があると思うので、その辺りをあまり基準に合う・合わないというところで縛られるのは、そんなに良くないと個人的には思います。</p> <p>ただ、私も結論を留保にしているのは、かといって、審査基準をこのままにして、今回形式的に審査して良いものかどうか、それとも柔軟に文言をこじつけるわけではないですが、広く解釈して、例えば教養を高める部分で教養の範囲を広く解釈したとして、可とするのか、そういったところを今日議論させていただければなと思っていました。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。確かに条例事項ではありませんが、一応条例から行政として推定したものです。</p> <p>議会に諮って決める条例ではありませんが、行政では基準ですので確におっしゃる通りではありますが、これに当てはめてどう解釈するかというところで新規は必要かと思いますが、合わないということを今、今日この場で議論し、これで可否を決定するということは、我々としても情報公開の際、何に照らして行ったのかという話にもなると思いますので、どう解釈するか検討することは、確かにあってもいいと思います。ただ、今の時代に合わないというところについては、今後の手順を検討させていただきたいと思いますので、その部分は宿題とさせていただきたいと思いま</p>

	す。
E 委 員	それでは、部会として結論を保留するということは考えられないということでしょうか。
事 務 局	保留することは可能です。
E 委 員	法定上、性質のことで委任かどうかという話がありましたが、条例の規定から委任による基準ではないと思いますが、そういう理解でよろしいですか。
事 務 局	厳密に言うとその条例は委任の規則ではありません。条例に適正な運用を図るための基準ということをお願いします。
部 会 長	他にございませんか。
E 委 員	保留という選択肢もあるということを伺ったのですが、先ほど部会長がおっしゃったように、できたらこの場で可否を決めるということを考えた時に、この本を否とすればおそらく審査基準を根拠にして説明することができると思います。ただ、可とした場合は、どのような説明ができるのかといった時に、すべからく納得していただける説明になる言葉を私たちがここで持つことが出来れば可でも良いかとは思いますが、そのあたりのことだと思います。
部 会 長	大事なポイントですね。はいどうぞ。
D 委 員	<p>私は可としてほしくないと思います。例えば営業の担当者がこの本を指定してほしいと言ってきた時に、例えばそれがすごく良い本であってもどうなのかなと思います。その部分のハードルを一つ、やはり個人の推薦や本人の推薦ではなくて世間的に説明できるような段取りをやはり審査基準の他に考えてみる必要がもしかしたらあるかもしれないと思います。</p> <p>今までのところで言うと、例えば推薦者が県立図書館の図書館長だった場合、この本は個人的にもああ、これはきっとみんなに認められている本なのだろうと、安心して推薦できるのではないかと思います。</p> <p>確かに今回の本に関して、県として推薦するとなった場合、我々委員一人一人が優良図書とする理由を説明できないと、個人的には推薦できないと思いました。そういうわけで今回の本は少し微妙でしょうけれども、例えば中学生が進路を決める時に自</p>

然科学に興味を持つとか、それとも人間に興味を持つのか、その他に興味を持つのかということで進路を決める時があるでしょうから、そういう場合には役に立つとか、様々なケースに照らし合わせて、判断すると、この本は大変良い本だとは思いますが、この本以外にもたくさんある本1冊1冊全てで様々なケースに照らし合わせるとすると、また他の本も全部推薦しなければいけないと思いますので、そのような意味でもこれはちょっと色々考えた方がいいのではないかと思います。

部 会 長

自薦というケースは今回が初めてですか。

事 務 局

今回が初めてではありません。今までも何回か自薦はありましたし、今回の「親子マンタふわり」も同じく作者による実践です。

部 会 長

なかなか難しいですね。部会で推奨されれば知事が推奨するということになります。団体が推薦したものについて推薦理由を読んで、なるほどと思いながら部会で審議するというのであれば、なんとなく分かるような気がするのですが、D委員のご指摘の通りです。

先ほどお話がありましたけれども、この本を可にすると、なぜ可にしたのか、説明とエビデンスがしっかりしていないといけませんし、否にするとしても、しっかり説明できないといけません。それでは審査基準について照らし合わせることができるかと言うと、その審査基準についても判断できないことが出てくると、この部会としての責任というのが曖昧になるのではないかと思います。

そこで一つ私からの提案ですが、今回はこのような議論があったということをきちんと残しておいて、その上で今回は否にして、次にこういった事例が出てきた場合にどう対処するか、そのことを事務局の方にお問い合わせということにしたいかがでしょうか。

～異議なしの声あり～

部 会 長

よろしいでしょうか。賛否あると思いますけれども、このような事案が出たということで、事務局にはよろしくお願ひしたいと思ひます。それで「親子マンタふわり」の方は特にご意見ないですね。色々議論を尽くしましたが、新しい申し送り事項も出てきましたので、今後に生かせればと思ひます。

それでは、「親子マンタふわり」の本は推奨して、「中学生にわかる遠近法一箇で考える遠近法一」については今回見送りますけれども、今後こういったものが出てきた場合、基準及び実践の場合の対処の仕方、そういったことについて事務局の方にもう

	<p>一度今後のために検討していただいて、次回にでも提案させていただければありがたいと思います。</p> <p>それでは以上で審議を終わりたいと思います。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。審査基準につきましては、次回までにこちらで研究して色々な事例も見ながら、皆様にお諮りできるように準備したいと思います。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。そうしますと、答申をいただいた優良図書の推奨については、10月下旬を目処に告示をして、関係箇所周知したいと考えております。今年度の会議は本日のこの部会をもちまして終了となります。</p> <p>以上で令和3年度秋田県青少年健全育成審議会環境浄化部会を終わります。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>